



恕の心



令和3年12月24日 校長 廣瀬 真樹

終業式!!そして仕上げの3学期へ

ついに終業式を迎え、いよいよ年明けからは仕上げの3学期を迎えることとなります。昨年の冬休みは14日間、今年は17日間。なんと3日も多い。ラッキー!……??

でも考えてみたら17日間って時間にすると408時間…結構多いです。ぼーっとしているのはもったいないですよ。どうせなら「楽しい」にプラスして「充実した」時間にしたいものです。ただそれを実行するのはほかでもない自分しだいです。

中学校のうちに経験する冬休みは3回。いつも「なんかあっという間に過ぎてしまったわ」「だらけた冬休みやった…」「結局、冬休みの宿題もぎりぎりになった…」という人、一回ぐらいは「今年は例年になく充実していた!」「やりたいと思っていたことができた!」という冬休みを送ってみてはいかがでしょう。

年が明けて3学期。皆さんにとって何よりも大切な時期です。

3年生→言うまでもなく進路の選択をする時期です。人をうらやむことなく自分で自分の進路をしっかり決め、決心と覚悟をする時期です。

頑張ってください。先生方全員、心からあなたを応援しています。

2年生→最上級生になる自覚が求められる時期です。3年生は学校の顔です。わが丸中を引っ張っていく覚悟を全員が持ってほしいです。

心の階段をしっかりと上げる準備をしてください。

1年生→いよいよ「先輩」になります。表面だけ偉そうで中味のない先輩はすぐに後輩から見破られます。心から尊敬される先輩は行動に表れるものです。自分の目指す先輩像を確認してください。

皆さんぜひ良いお年をお迎えください。1月11日(火)元気な姿を見せてください!!

「くれない族」

この言葉、聞いたことありますか? 「〇〇が〇〇してくれない」のように、「～してくれない」の言葉を多用する人の総称で30年以上前(皆んなは生まれてもいない!! 知らないよね🙄)に流行って流行語大賞にもなった言葉です。東京大学総合教育研究センター准教授の中原淳先生が、この「くれない族」についてブログにこう書いています。

「くれない族」は「今起こっている自分にとって不都合な現象」に対して、自分の影響力、自分の努力のなさを「ミ」も考えず、常に「傍観者」的視点で、周りの行動のみを批判します。興味深いのは、「自分の原因」は、くれない族の頭からは、都合良く、きれいさっぱり抜け落ちていることです。

不都合なことを、他人のせいにしておけば、自分は傷つかないですみます。良いことは自分のせい、悪いことは他人のせいという人には、孤独まっしぐらの人生が待っています。

物事に対して不平や不満を持つことは時には次に向かっていくエネルギーになることがあります。ただ自分の努力のなさや、相手の思いを押し量らないで発言する人にはプラスのことは起きないものです。「〇〇が〇〇してくれない・・・」・・・気を付けて発言したいものですね。



校長コラム

私のわがまま当たり前 他人のわがまま許せない

「お寺の掲示板」シリーズです。愛知県の西岸寺に掲示されていたそうです。

人はつつい自分のことは棚に上げて他人の批判をすることがあります。自分はやっていないのに、人にはやれと要求する。そんな考えでは良い人間関係は作れません。「人のふり見て我がふりなおせ」という言葉もあります。相手を批判する前に自分を省みることができたいものです。心にしっかりと刻んでおかなければいけない言葉です。